



中央会事業より

組合運営に役立つ「会計監査セミナー」を開催

本会では、組合の役職員を対象に、会計監査の手順や手法、留意点等を学ぶことで適正な組合運営に役立てるための会計監査セミナーを県内3会場において開催しました。

組合における監査の手法及び主なポイントについては下記のとおりとなりますので、参考にして下さい。

なお、会計監査チェックシート(監査事項一覧表)や決算期の事務手順等については、本会事業振興部までお問い合わせ下さい。

(☎018-863-8701)



【セミナーの様子】

【監査の手法と留意点】

(1)一般監査技術：①証憑突合せ、②伝票突合せ、③帳簿突合せ、④勘定突合せ、⑤計算突合せ、⑥通査

(2)個別監査技術：①実査、②立会、③確認、④質問、⑤勘定分析、⑥比較、⑦比率分析

実査のポイント：資産は帳簿残高と実際有り高を突合せ、また、前年との比較を行うこと。

比較分析のポイント：次の場合は、財務状況が危険な状態にある可能性が高い。

①キャッシュフローが3期連続でマイナスである、②債務超過である

③自己資本比率が10%である、④流動比率が100%以下である

【安定した財政管理のために】

(1)自己資本比率を上げること

遊休資産の処分、立替金・仮払金の早期精算、売掛金の早期回収、商品在庫の圧縮など。

(2)組合事務局にはなるべく現金を置かないこと

取引先や組合員とのやりとりは、出来るだけ現金を通さないことが望ましい。

さらに、口座はできるだけ少なく、お金の流れをシンプルで単純な仕組みにすること。

売上増加で経営力向上を図る！消費税転嫁対策講習会を開催

本会では、重なる消費税増税への備えをはじめ、企業において経営力を高めていくことが極めて重要な課題となっていることから、自社・自店の商品やサービス内容を見直し売上増加を図ることを目的として、「確実に売れる商品マーケティングによる経営力強化策」をテーマに消費税転嫁対策講習会を県内3会場において開催しました。

講師からは、何もしなければ売上減少は必至であり、どのような取り組みが効果的なのか、事例を交えて説明がありました。

主なポイントは、次のとおりです。



【講習会の様子】

(1)売れるための戦略は「安売り」と「差別化」、この2つのみ。

「差別化」の手法は、①高品質化・高性能化・多機能化、②ブランド化、③付加価値サービス(おまけ、無料配送等)、④品揃えの多様化または絞り込み、⑤顧客接点による差別化(販売方法、接客方法)などにより、他社製品・サービスとの違いを際立たせることで、優位性を確保する戦略。

(2)売れるための仕組みづくり……ターゲットを絞り込んだ方が売上が伸びる!!

①自社の強みを知る(得意分野、お客様から喜ばれたこと→売上に結びつきそうなこと)

②新たな売上増の方法を考える(高齢者施設に訪問販売に行く、新しいサービスを実施する等)

③ターゲットの絞り込み(個人or法人、地域、性別、年齢、職業、地域、ライフスタイル等)

※メッキ加工会社の例(福井県)：これまで下請け加工が中心であったが、ホームページに個人向けメッキ加工の案内を出したところ、オートバイ部品の加工等について問い合わせがあり、受注に繋がっている。

安定した企業経営・組合運営のための手法を学ぶ ～秋田県物流事業協同組合連合会～

県内の8つのトラック運送業の事業協同組合で構成する秋田県物流事業協同組合連合会(齊藤正敏会長)では、会員を対象に共同購買事業や教育情報事業を実施しています。

一方、会員組合を構成している県内のトラック運送事業者は、平成26年4月の高速道路通行料金割引制度(ETC割引制度)の改正による割引率の引き下げや、燃料費の不安定な動向により、企業経営における利益管理が困難となっていることから、本会の組合活力向上事業を活用し、安定した企業経営及び組合運営を図っていくための研修会を開催しました。



【研修会の様子】

研修会では、公認会計士の堀井照重氏から、「トラック運送事業者においては、財務諸表の数値の変化を発見し適切に対応すること。」「トラック運送業の組合においては、適正な監査体制の構築や入出金の管理を通じて、異常性がないかを確認することで適正な組合運営に資すること。」などのアドバイスを受けました。

テーマ

「決算書から読み取る安全な組合・企業運営」・「効果的なコスト削減のための項目設定と詳細分析」

1 企業経営・組合運営における経営分析とコスト管理

◆決算書の分析

単年ではなく、複数年(通常は3年度分)の決算書を見て、過去の数字上のすう勢を比較する。

◆経営分析

収益性、安全性、成長性、健全性及びその他の観点から分析を行い、問題点を把握する必要がある。特に、安全性については、売上債権の中に不良資産等がある場合は注意を要し、実態を良く見ることで自己資本の「痛んでいる内容」を分析する。

◆定量的な実態の把握

経営課題を整理し改善に向けた検討を行う際は、定性的な現状分析に加え、可能な限り実際の数字により定量的に実態を把握する。

◆組合事業における請求・入金管理の徹底

事業を利用する組合員に対する請求及び入金管理を適切に行わなければならない。

なお、高速道路通行料金の共同精算事業を実施している組合については、組合員から受領する料金と、高速道路会社へ支払う料金がきちんと整合性が取れているか、また、組合員から受領すべき未収金の異常な増加の有無等を、年1回の決算時だけでなく、月次決算により推移を毎月チェックする。

2 健全な組合運営のために

◆組合の監査体制について

組合監査については、組合員が監事に就任している場合、いわば「馴れ合い」で監査を行うことがあり、チェック体制が十分とはいえない場合がある。このため、第三者の目で監査を行うような体制づくりも必要である。

また、組合員から受領すべき毎月の未収金の推移については、監事の立場からも確認を徹底する。

中央会主催のセミナー・研修会のご案内

■会員組合の皆様！ 年度末の事務作業の円滑化・効率化のために、本セミナーへ是非ご参加下さい。

【年度末事務セミナー】

日 時：平成27年3月18日(水) 午後1時30分～4時30分

会 場：ホテルメトロポリタン秋田 3階「ジュエルB」

内 容：①「組合関係税制ならびに組合特有の会計について」
②「年度末事務手続きの留意点について」

受講料：1,000円 ※筆記用具をご持参下さい

【申込み・お問い合わせ】 本会商業振興課(☎018-863-8701)

■発足20周年記念祝賀会を開催 ～あきた共通商品券協同組合～

2月6日(金)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)においてあきた共通商品券協同組合(辻篤志理事長)の発足20周年記念祝賀会が開催され、本会高橋清悦専務理事をはじめ関係者等約60名が出席しました。

当組合には239名が加盟しており、「ほっぺちゃんカード(ポイントカード)」と「あきた共通商品券」の発行や運用の他、イベントの実施等を通じ、組合員の経営力の強化と地域の活性化を図っています。

祝賀会に先立ち開催された成果発表では、加盟店のうち株式会社安藤醸造(仙北市)、有限会社ビー・スケップ(仙北市)、株式会社菓子舗榮太楼(秋田市)の3社から、ほっぺちゃんカードを通じたお客様との繋がりや、積極的なポイントの付与が来店動機に繋がっている事例等が紹介されました。

引き続き、会場を移して開催された祝賀会では、辻理事長が「20周年を機に組合員が結束を強め、秋田の人が地域で喜んで買い物ができる仕組みを作っていきたい。」と挨拶し、出席者は当組合の更なる発展を祈念するとともに、地域経済の活性化を誓い合いました。



【祝賀会の様子(挨拶：辻理事長)】

■平成27年新春講演会・新年会を開催 ～秋田県鐵構工業協同組合～

2月6日(金)、イヤタカ(秋田市)において秋田県鐵構工業協同組合(藤澤正義理事長、本会会長)と一般社団法人秋田県溶接協会(工藤良廣会長)の共催による講演会が開催され、両団体の会員や関係者等約80名が参加しました。

講演会は、政治評論家の屋山太郎氏を講師に迎え、「今後の政局と日本経済の展望」をテーマに行われました。

屋山氏は「アベノミクス第三の矢、成長戦略として可能性の高いのは農業や医療、大型・精密製造業であり、日本の高い技術力を海外に売り込む新産業革命を目指すべきである。」と持論を展開し、参加者は熱心に聴講しました。

また、引き続き開催された新年会には約70名が出席し、新しい年の慶びを分かち合うとともに、本県経済の発展を誓い合いました。



【新春講演会の様子(講師：屋山太郎氏)】

■「FISフリースタイルスキーワールドカップ」の表彰メダルを制作

～角館工芸協同組合～

2月28日(土)・3月1日(日)の2日間にわたり仙北市で開催された「FISフリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会」において、モーグル競技及びデュアルモーグル競技の男女各上位3位までの入賞者に対し、本県を代表する伝統工芸「樺細工」の工法を用いたメダルが贈られました。

このメダルとケースは、角館工芸協同組合(田口宗平理事長)が大会組織委員会の依頼により約9ヶ月かけて制作したもので、上部に大会ロゴ、中央部に樺細工を入れ込んだメダルと、上質な山桜の樹皮をふんだんに使用したケースは、見た目も新鮮で、丁寧になめされた樹皮の手触りからは、自然の風合いや木のぬくもりが感じられます。

当組合は、平成13年に本県で開催された「秋田ワールドゲームズ2001」で公開競技用のメダルを制作した実績もあり、今後も確かな品質の製品づくりを通じて、伝統工芸品の振興と地域経済の活性化に貢献していくこととしています。



【(左から)銀・金・銅メダル】



【メダルとメダルケース】

支援団体活動レポート

平成27年度通常総会を開催 ～秋田県中小企業団体事務局協議会～

2月12日(木)、ホテルメトロポリタン秋田(秋田市)において、秋田県中小企業団体事務局協議会(佐藤弘幸会長)の平成27年度通常総会が会員20名の出席により開催され、平成26年度の事業報告書及び収支決算書や、平成27年度事業計画案及び収支予算案等、全ての議案が満場一致で原案どおり承認・可決されました。

今年度は、「調査研究事業」の一環として、他県の事務局協議会との情報交換を目的とした視察研修を実施するほか、中央会が事務局を担当する支援団体と連携して、組合事務局役職員の資質向上を図るための研修会や親睦・交流を深めるためのボウリング大会等の開催を予定しています。



【通常総会の様子】

会員募集中！

活動目的：県内における協同組合等の事務局代表者が相互に緊密な連携を保つことにより、円滑な組合運営と事務局の強化を図り、もって組合の発展に資すること

会員資格：中央会会員組合の事務局代表者(常勤役員、事務局長及びこれに準ずる者)

※詳細につきましては、本会商業振興課までお問い合わせ下さい(☎018-863-8701)

平成26年度第2回研修会を開催 ～秋田県中小企業組合士会～

1月30日(金)、第一会館本館(秋田市)において、秋田県中小企業組合士会(堀川深雪会長)の平成26年度第2回研修会が開催され、株式会社商工組合中央金庫秋田支店の片山雅史支店長を講師に迎え、「秋田県における中小企業の現状と今後の展望」をテーマに講演が行われました。

片山氏からは、本県をはじめ全国の中小企業が取り組む、地域に密着したビジネス展開の事例が紹介されたほか、「**中小企業組織融資資金**」や「**中央会推薦貸付制度**」など、中央会会員組合及び組合員企業に対し低利の融資を行う融資制度の説明等、今後の中小企業の積極的な事業展開に繋がるヒントが得られた研修会となりました。

また、研修会終了後に開催された新年会には会員等23名が参加し、新しい年の慶びを分かち合うとともに、本組合士会の更なる発展を誓い合いました。

※「中小企業組織融資資金」及び「中央会推薦貸付制度」の内容につきましては、本会企画広報課までお問い合わせ下さい。(☎018-863-8701)



【研修会の様子】

縫製業の活性化を図るための意見交換会を開催

～秋田県アパレル産業振興協議会・秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会～

2月19日(木)、秋田キャスルホテル(秋田市)において、秋田県アパレル産業振興協議会(佐々木繁治会長)と秋田県外国人技能実習生受入組合連絡協議会(佐賀善美会長)の共催により県内縫製業界の活性化を図るための意見交換会が開催され、県内縫製業のPRや生き残り策等について、グループに分かれて検討を行いました。

各グループからそれぞれ意見発表がなされた後、今後次のとおり取り組んでいくことに決定しました。



【意見交換会の様子】

①東北アパレル産業機器展(東北ミシンショー)でのPR方法について

昨年に引き続き、横手市で東北ミシンショーが開催され、一般消費者も多数来場することから、県内のアパレル業界の絶好のPRの場と捉え、各社の製品をディスプレイする他、セールや体験コーナーなど、効果的な付帯イベントの実施を検討していく。

②従業員の定着を図るための職場環境作りと人材育成について

- ・若年者から70歳代まで、女性が安心して働ける企業の環境づくり(仕事と家庭の両立支援等)
- ・従業員一人一人が目標意識を持ち、スキルアップに繋がるような仕組みづくり

なお、両協議会では、県内縫製業界の活性化に向け、地域密着型事業を展開することで地域の活性化に寄与していくこととしています。

「秋田県新作家具・インテリア展2015」が開催されます

協同組合秋田県家具工業会(半田健喜理事長)では、木製家具等の持つ優れた性能を広く普及し、需要の拡大に資することを目的に、長年培ってきた技術による県産木製家具やインテリアの新製品の展示会を開催します。
是非、見て、触って、使って、本物の良さを実感して下さい。(入場無料)

○会 期：平成27年3月20日(金)～3月23日(月)

午前9時～午後5時(20日は午前10時から、23日は午後4時まで)

○会 場：アトリオン・イベント広場(秋田市)

【お問い合わせ先】 協同組合秋田県家具工業会(☎018-883-1191)

ホームページ <http://www.chuokai-akita.or.jp/kinokagu/#id90>

平成27年度本会通常総会開催(予定日)のご案内

【日 時】 平成27年6月4日(木)午後3時30分から

【場 所】 秋田市「ホテルメトロポリタン秋田」(秋田市中通七丁目2-1)

※開催日は、4月以降に開催される理事会で正式に決定されます。



組合ティールーム 秋田県自動車整備商工組合

理事長 千葉 倉 男 さん

(株式会社千葉自動車 代表取締役)

○業界の現状について

当組合は、県内の自動車分解整備業者の経営の安定・合理化及び経済的地位の向上を図るために昭和49年に設立され、現在681名が加入しています。

当組合は、秋田県自動車整備振興会と表裏一体の運営を行っており、当組合は主に経営指導・教育事業や共同購買事業、共済保険事業等を、整備振興会は、自動車の点検整備等の専門的な内容に関する事業を実施しています。

現在、自動車整備業界では人材不足が深刻な状況となっているほか、日進月歩の自動車先端技術への対応などが重要な課題となっているため、人材育成に積極的に取り組み、組合員の経営基盤の強化を図っています。

○理事長としての抱負

組合員のニーズに合わせた情報をタイムリーに提供していきたいと思っています。また、東日本大震災以降、地域社会において緊急時の対策が必要となっていることから、秋田県と当組合との間で災害協定を締結することを目指しています。

○座右の銘について(普段心がけていること)

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」という山本五十六の言葉が好きで、事務所にも掲示しています。この言葉を肝に銘じ、正直に、まじめに、常に努力することを心懸けています。

○趣味について

趣味はマジックです。人に喜んでもらいたいという思いから始めたもので、大館マジシャンクラブの立ち上げにも関わりました。以前は「いなかのマジックショー」と銘打ち、小学校や幼稚園などを回ってマジックを披露していましたが、最近は仕事が多忙で、なかなか子ども達にショーを見てもらう機会がなく、残念に思っています。

